

部課別掲載事業一覧

部名称	担当課名称	事業番号	事業名称	頁
上下水道部	上下水道総務課	未設定1	上下水道料金賦課徴収事業	1
		未設定2	広報関係事業	3
		未設定3	大阪広域水道企業団への水道事業統合等に伴う例規整備	5
	水道工務課	未設定4	管路更新耐震化事業	7
		未設定5	鉛製給水管の解消事業	9
		未設定6	アセットマネジメントに基づいた施設の機能維持	11
	下水道課	未設定7	公共下水道維持管理事業	13
		未設定8	下水道普及促進事業	15
		未設定9	浄化槽市町村整備推進事業	17
		未設定10	流域関連公共下水道整備事業	19

# 令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月5日
部署名	上下水道部 上下水道総務課
評価者	岩崎 暁志

## ■対象事業

事業番号	未設定1	事業名称	上下水道料金賦課徴収事業
------	------	------	--------------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (2) 快適に暮らせる環境づくり ▶ (個別施策25) 暮らしを支える都市基盤の整備
------	--

予算科目	(款) 水道事業費用	事業種別	(大事業) 委託料
	(項) 営業費用		(中事業) お客様センター運営業務委託料
	(目) 業務費		(小事業)

事業目的	開閉栓の受付並びに窓口での料金徴収業務等を民間会社に包括委託を行なうことにより、利用者へのサービス向上と経営の効率化を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	86,350	86,130		
	決算	86,350			

事業概要	検針業務及び開閉栓業務並びに料金収納業務に加え、開閉栓の受付業務等を含めた業務を「水道お客様センター」において一元化し、事務運営を行う。
------	--

## ■実施(DO)

成果指標1	年度別収納率	→	単位	予定	100	100	100	100
				実績	90			
【 % 】				( 令和8年度目標値 → 100 % )				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
【 】				( 令和8年度目標値 → )				
活動指標1		→	単位	予定				
				実績				
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

## ■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性) 上下水道事業の収益の根幹である水道料金、下水道使用料の徴収業務であり、不可欠なものである。	新たな財源の検討	×:検討していない 経費については、上下水道料金を財源としております。
事業の委託可能性	○:委託できる 現在すでに委託している。	受益者負担の適正さ	○:適正である

## ■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	年度別収納率は毎年90.1%程度でほぼ横ばいの状況です。収納率のさらなる向上を目指し、今後も取り組みます。
---------------	---

## ■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事 項等を踏まえ た要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>上下水道料金賦課徴収業務については、収納率の数値は問題ないものと考えております。今後も利用者へのサービス向上と経営効率化を目指して検討をすすめていきます。</p>
---------------------------	--

# 令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月5日
部署名	上下水道部 上下水道総務課
評価者	岩崎 暁志

## ■対象事業

事業番号	未設定2	事業名称	広報関係事業
------	------	------	--------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (2) 快適に暮らせる環境づくり ▶ (個別施策25) 暮らしを支える都市基盤の整備
------	--

予算科目	(款) 水道事業費用	事業種別	(大事業) 印刷製本費
	(項) 営業費用		(中事業) 印刷製本費
	(目) 総係費		(小事業)

事業目的	水道事業の仕組みや、水道料金について、年報や啓発チラシ(上下水道だより)、を作成し、ウェブサイト等を通じて情報公開することにより、水道事業に対する認識を高める。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	654	351		
	決算	308			

事業概要	新着情報、水道料金届出、故障時の対応、工事の申込、指定給水工事業者の情報、入札・契約の情報、水道事業の仕組、応急給水に関する情報、耐震化事業の必要性の周知等を、水道利用者・事業者に対し提供する。
------	---

## ■実施(DO)

成果指標1	ウェブサイトへの年間カウント数を成果指標と考えることも出来るが、「水道ビジョン」を作成する中で、数値目標を設定することに向かないという結論に達したため成果指標は設定せず。	→	単位	予定				
				実績				
			[ ]	(令和8年度目標値 → )				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
			[ ]	(令和8年度目標値 → )				
活動指標1		→	単位	予定				
				実績				
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

## ■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性) 近年、水道事業を取り巻く環境の変化は大きく、水道事業への正しい認識を市民にお持ちいただくための啓発が必要です。全市民が利用するサービスであるため、お年寄りなどへの情報発信を考慮すると市広報誌やWEBだけでなく、上下水道だよりなどの他の豊穣発信手段も必要と考えます。	新たな財源の検討	×:検討していない 経費については、上水道料金を財源としております。
事業の委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題) 上下水道だよりについては現在配布を委託しているが、作成については委託することができず(内容の作成ができない)発行回数も概ね年1回であり、効率面から委託できない。	受益者負担の適正さ	×:検討していない

## ■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	上下水道だよりについては、市民から感想が届くこともあり、概ね評価は良いと考えている。水道事業を知っていただく機会として今後も継続していきたい。
---------------	---

## ■予算要望の方向性(PPLAN)

評価・改善事 項等を踏まえ た要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 「上下水道だより」の発行を年1回程度で今後も継続していくほか、今後は新たな情報共有の方法、媒体の検討を行う必要があると考えています。
---------------------------	--

# 令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月25日
部署名	上下水道総務課
評価者	岩崎 暁志

## ■対象事業

事業番号	未設定3	事業名称	大阪広域水道企業団への水道事業統合等に伴う例規整備
------	------	------	---------------------------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (2) 快適に暮らせる環境づくり ▶ (個別施策25) 暮らしを支える都市基盤の整備
------	--

予算科目	(款) 水道事業費用	事業種別	(大事業) 委託料
	(項) 営業費用		(中事業) 委託料
	(目) 総係費		(小事業)

事業目的	大阪広域水道企業団への水道事業統合等に伴う例規整備を行う必要があるため	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	0	0		
	決算	0			

事業概要	令和2年から企業団統合に向けた検討を行い、現在統合素案を策定し、公表しているところである。 今後、令和5年3月に企業団規約の変更が統合検討協議参加団体(富田林市・東大阪市・八尾市・柏原市・和泉市・岸和田市・高石市)すべての市議会で議決を得られれば、令和6年4月に水道事業は企業団へ統合されることとなる。
------	--

## ■実施(DO)

成果指標1	→	単位	予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			実績				
成果指標2	→	単位	予定				
			実績				
活動指標1	→	単位	予定				
			実績				
活動指標2	→	単位	予定				
			実績				
活動指標3	→	単位	予定				
			実績				
活動指標4	→	単位	予定				
			実績				

## ■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性) 令和5年3月に企業団規約の変更が市議会で議決を得られれば、令和6年4月に水道事業は企業団へ統合されることとなり、令和5年度中の、条例、規則、規程等法的な整備が必要です。	新たな財源の検討	○:得られるものはない
事業の委託可能性	○:委託できる 専門的な観点から、委託による作業の支援が必要です。	受益者負担の適正さ	一:該当しない

## ■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	企業団への統合準備のため、条例、規則、規程等統合後の業務が円滑に行えるよう、法整備が必要です。
---------------	---

## ■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事 項等を踏まえ た要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>大阪広域水道企業団への水道事業統合等に伴う例規整備を行うため、専門的な知識を有する事業者に業務委託することで、法整備に係る作業効率を上げるもの。</p>
---------------------------	---

# 令和4年度事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月30日
部署名	上下水道部 水道工務課
評価者	香川 尚之

## ■対象事業

事業番号	未設定4	事業名称	管路更新耐震化事業
------	------	------	-----------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (2) 快適に暮らせる環境づくり ▶ (個別施策25) 暮らしを支える都市基盤の整備
------	--

予算科目	(款) 資本的支出	事業種別	(大事業) 工事請負費
	(項) 建設改良費		(中事業) 整備事業
	(目) 事業費		(小事業)

事業目的	富田林市水道事業ビジョンの目標の一つである「強靱な水道～災害にへこたれない～」を実現するため。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算 1,063,938	915,535		
		決算	899,193			

事業概要	平成27(2015)年度に策定した「水道事業財務及び事業計画」に基づいて各管路の管種(耐震性、事故危険度)や重要度を考慮して更新基準年数を設定し、これに基づいて事業を推進する。
------	--

## ■実施(DO)

成果指標1	水道管の耐震適合率 (耐震管路延長÷管路総延長)×100 ※令和元年度より耐震性を有する管を含む	→	単位	(現年)			
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			予定	52	54	56	58
			実績	50			
			【 % 】	( 令和8年度目標値 → 62 % )			
成果指標2		→	単位	予定			
			実績				
			【	( 令和8年度目標値 → )			
活動指標1	年間管路更新延長	→	単位	予定	9,387	8,352	8,352
			【 m 】	実績	5,557		
活動指標2		→	単位	予定			
			【	実績			
活動指標3		→	単位	予定			
			【	実績			
活動指標4		→	単位	予定			
			【	実績			

## ■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	管の老朽や地震による水道管の破損による漏水を未然に防ぐための重要な事業である		国の交付金対象事業であるが、採択基準を満たすことが困難であるため、自己資金での事業となる。その他の収入として小水力発電による売電や公用車のマグネット広告を行っている。
事業の 委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	△:適正でない
	現に設計や施工管理を委託しているが、今後小規模DBなど委託発注の余地がある。		今後は厳しい経営環境が予想されるため、現状の水道料金が適正であるとは言えない。料金の改定を検討しなければならないと考える。



## ■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	市内の水道管は、高度成長期に集中して整備されたため、老朽化し更新時期を迎えています。避難所や病院等の重要給水施設を優先的に整備しているところですが、人口減少に伴う料金収入の悪化や職員数の減少により、目標の達成が困難になっております。予算の確保と職員の確保が課題です。
---------------	---

## ■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>計画的に更新工事を行う必要があるため、継続して予算要望を行います。</p>
-------------------	--

# 令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月30日
部署名	上下水道部 水道工務課
評価者	香川 尚之

## ■対象事業

事業番号	未設定5	事業名称	鉛製給水管の解消事業
------	------	------	------------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (2) 快適に暮らせる環境づくり ▶ (個別施策25) 暮らしを支える都市基盤の整備
------	--

予算科目	(款)	事業種別	(大事業)
	(項)		(中事業)
	(目)		(小事業)

事業目的	富田林市水道事業ビジョンの目標の一つである「安全な水道～水源から蛇口まで～」を実現するため。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	0	0		
	決算	0			

事業概要	戸別訪問をおこない、水道メーターから蛇口までの間にある鉛製給水管の取替を要請する。
------	---

## ■実施(DO)

成果指標1	メーターから蛇口までの間にある鉛製給水管の取替は所有者負担のため、要請であるため成果指標としてはなじまない。	→	単位	予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				実績	1			
【 回 】				( 令和8年度目標値 → 回 )				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
【 回 】				( 令和8年度目標値 → )				
活動指標1	広報及び戸別訪問での周知活動回数	→	単位	予定	1	1	1	1
				実績	1			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

## ■評価(CHECK)

事業の 必要性	△:事業内の一部について必要性が低い	新たな 財源の検討	×:検討していない
	鉛管については、長時間の水の滞留による溶出が問題であり、水道メーターまでの給水管においてはほぼ解消している。しかし宅内配管においては現存しており、需要家の方負担の費用もかかる事から、要請するに留まっています。		個人の給水管の為検討していない。
事業の 委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	個人給水管で該当件数も少数となってきたことから、委託する必要は無しと考える。		個人の所有物であり、受益者負担が妥当である。

## ■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	滞留による鉛の溶出は問題点であり広報においても周知している。 工事費用が所有者の負担になるが、今後も要請は続けていく必要がある。
---------------	---

## ■予算要望の方向性(PPLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>現状としては、鉛製給水管の水質が水道法に抵触するような問題ではないが、今後水質基準が厳しくなれば、問題となる。しかし、水道メーターより宅内側の工事となるので、家の建替え時期などでしか解消を要請できない問題があり、記載が必要な予算要望の方向性とはなじまない。</p>
-------------------	---

# 令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月30日
部署名	上下水道部 水道工務課
評価者	香川 尚之

## ■対象事業

事業番号	未設定6	事業名称	アセットマネジメントに基づいた施設の機能維持
------	------	------	------------------------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (2) 快適に暮らせる環境づくり ▶ (個別施策25) 暮らしを支える都市基盤の整備
------	--

予算科目	(款) 資本的支出	事業種別	(大事業) 工事請負費
	(項) 建設改良費		(中事業) 整備事業
	(目) 事業費		(小事業)

事業目的	富田林市水道事業ビジョンの目標の一つである「強靱な水道～災害にへこたれない～」を実現するため。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	458,673	531,828		
	決算	396,301			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27(2015)年度に策定した「水道事業財務及び事業計画」では、アセットマネジメントを用いて当面の更新対象施設を抽出し、これに基づいて更新を行なう。</li> <li>一部配水池については、実施済みの劣化調査結果に基づいて塗装を行なうなどの予防保全を実施し、長寿命化を図る。</li> <li>点検記録や事故記録、修繕履歴等の蓄積・分析を行い、実態に見合った更新基準年数の見直しを検討する。</li> </ul>
------	---

## ■実施(DO)

成果指標1	法定耐用年数超過設備率(法定耐用年数を超過している機械・電気・計装設備等の合計数÷機械・電気・計装設備等の合計数)×100	→	単位	(現年)				
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			予定	71	72	64	59	
			実績	71				
			【 % 】	( 令和8年度目標値 → 42 % )				
成果指標2		→	単位	予定				
			実績					
			【 % 】	( 令和8年度目標値 → )				
活動指標1	法定耐用年数を超過している機械・電気・計装設備の合計数	→	単位	予定	130	137	123	113
			【 箇所 】	実績	136			
活動指標2		→	単位	予定				
			【 % 】	実績				
活動指標3		→	単位	予定				
			【 % 】	実績				
活動指標4		→	単位	予定				
			【 % 】	実績				

## ■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	経年化設備を放置すると老朽化し、事故発生リスクが高まるため、更新は必要である。予防保全を行うことで施設の長寿命化が図れる。		交付金対象の事業もあるが採択基準を満たすのが困難である。
事業の 委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	施設の設計や建設、維持管理を一体として発注するPFI、DBO等で適用可能な連携手法を検討する。		水道施設の維持管理であり、該当しない。

## ■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	更新計画をたてるうえで、更新費用を抑制するために、法定耐用年数の1.5倍にあたる経年劣化期間内で更新工事を行っている。本来であれば、法定耐用年数を基準に更新工事を行う事が望ましい。
---------------	--

## ■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>計画的に法定耐用年数が超過した施設が増大しないようにするには、計画的に更新が必要なため、継続して更新費用は必要です。</p>
-------------------	---

# 令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月5日
部署名	上下水道部 下水道課
評価者	浅尾 寛

## ■対象事業

事業番号	未設定7	事業名称	公共下水道維持管理事業
------	------	------	-------------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (2) 快適に暮らせる環境づくり ▶ (個別施策25) 暮らしを支える都市基盤の整備
------	--

予算科目	(款) 下水道事業費用	事業種別	(大事業)
	(項) 営業費用		(中事業)
	(目) 管渠費		(小事業)

事業目的	ライフラインである汚水・雨水管渠等の公共下水道施設について、適切な維持管理を図る	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	236,992	235,437	
		決算	204,127			

事業概要	公共下水道施設の老朽化等による漏水等に対する補修工事や汚水・雨水管渠内に侵入する木根の切断・点検・清掃等の委託業務により適切な維持管理を目指す。
------	--

## ■実施(DO)

成果指標1	突発的な維持管理を含む事業であるため、計画的な成果検討が困難である。	→	単位	予定				
				実績				
			[ ]	(令和8年度目標値 → )				
成果指標2	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
			[ ]	(令和8年度目標値 → )				
活動指標1	下水道施設の補修工事・管更生工事発注件数	→	単位	予定	2	2	2	2
				実績	11			
活動指標2	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
活動指標3	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
活動指標4	設定なし	→	単位	予定				
				実績				

## ■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(その他)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	下水道施設の適切な維持管理に必要です。南河内4市町村における下水道事務の広域化・共同化により、適切な技術継承や事務効率化による市民サービスの向上に努めます。また、PFI方式による管渠の長寿命化及び雨水の汚水管侵入水対策を進めるとともに、市民の誤接続解消工事に係る費用の一部を助成する。		下水道管路施設のストックマネジメント計画の見直し等により、国費を財源に充てて、一部施設について改築・更新等を行える可能性がある。
事業の委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	現在、できる範囲については委託済みであるが、委託すること(PFI等も含めて)が効率的である場合、委託することを検討します。		公共下水道維持管理事業であり、受益者負担を求める事業ではない。

## ■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	市が管理する下水道管路の総延長約437kmの内、法定耐用年数50年を経過する管渠が約10%あり、今後も老朽化した施設が更に増大することが見込まれる。施設の劣化に起因する事故や、機能低下・停止による下水道使用者への使用制限など、事業者側の維持管理に起因して発生するリスクもあることから、既存管路の老朽化対策に集中して取り組んでいく必要がある。計画的かつ継続的に管路の改築を図るための事業投資が必要である。
---------------	---

## ■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>【分流式下水道における雨天時の不明水侵入対策について】 ・近年の下水道施設の老朽化の進展や局地的集中豪雨の増加等を踏まえ、分流式下水道雨天時侵入水等の要因となる不明水への対策については、全国的な取り組みが必要と考えられています。本市においても、昭和42年より供用開始した金剛地区の下水道施設について、管路施設の老朽化や個別排水からの不明水の発生実態があり、民間活力(PFI)を導入して事業を行うなど、効果的な対策の検討を行うとともに、適切な維持管理を目的とした、施設の更新・改善を行い不明水を削減していく。</p> <p>【下水道事務の広域化による効率的・効果的な体制の推進】 ・平成28年度に下水道事務の広域化協議会(太子町・河南町・千早赤阪村との連携)を設立しました。各市町村が個別に行っている業務の統一化を行うことで、事務量の軽減化が図れると考えております。また、広域化による共同発注で業務等の契約金額にスケールメリットが生まれます。今後も管理施設等の増加が見込まれるが効率的な維持管理体制の構築を進めていきます。</p>
-------------------	---

# 令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月5日
部署名	上下水道部 下水道課
評価者	浅尾 寛

## ■対象事業

事業番号	未設定8	事業名称	下水道普及促進事業
------	------	------	-----------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (2) 快適に暮らせる環境づくり ▶ (個別施策25) 暮らしを支える都市基盤の整備
------	--

予算科目	(款) 下水道事業費用	事業種別	(大事業)
	(項) 営業費用		(中事業)
	(目) 普及指導費		(小事業)

事業目的	生活環境の改善や公共用水域の水質保全など下水道事業の目的達成のため、公共下水道への接続促進を図る。また、下水道経営の観点から接続増加による使用料の増収を図るとともに健全な下水道運営を目指す。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	990	990	
		決算	990			

事業概要	業務委託による戸別訪問を行い、公共下水道への接続啓発及び接続相談を通じて普及促進を図る。 又、市民の水洗化工事に係る助成金を新たに創設し、更なる普及促進を図る。
------	---

## ■実施(DO)

成果指標1	水洗化率:公共下水道に接続している人口÷供用開始区域内の人口	→	単位	予定	97	98	99	100
				実績	94			
【 % 】				(令和8年度目標値 → 100 % )				
成果指標2	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
【 】				(令和8年度目標値 → )				
活動指標1	年間訪問件数	→	単位	予定	3,500	3,500	3,500	3,500
				実績	2,787			
活動指標2	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
活動指標3	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
活動指標4	設定なし	→	単位	予定				
				実績				

## ■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな財源の検討	×:検討していない
	公共下水道地域内における未水洗化世帯の住民に、下水道への接続義務を認識していただき、水洗化の普及促進を図ることで、生活環境の改善にもつながる。		公共下水道の普及促進については、市が勧めるものであり、交付金、補助金等得られる財源はない。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担の適正さ	×:検討していない
	水道お客様センターに委託することで、個別訪問による住民への相談を行っている。		公共下水道への未接続者を対象としているため、受益者負担金を割り当てる可能性はない。



## ■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	普及活動を目的とするため、活動量の実績(訪問件数)は容易にできるが、水洗化率の向上については、個人の諸事情等も関係することから明確に成果が出るわけではない。普及活動内容の再確認や調整・修正を行う必要がある。
---------------	---

## ■予算要望の方向性(PPLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>・委託先の水道お客様センターとの連携により、普及活動内容の改善に取り組めます。成果向上を目的とする予算拡大の方向性はないと考えています。</p>
-------------------	---

# 令和4年度事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月5日
部署名	上下水道部 下水道課
評価者	浅尾 寛

## ■対象事業

事業番号	未設定9	事業名称	浄化槽市町村整備推進事業
------	------	------	--------------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (2) 快適に暮らせる環境づくり ▶ (個別施策25) 暮らしを支える都市基盤の整備
------	--

予算科目	(款) 下水道事業費用	事業種別	(大事業)
	(項) 営業費用		(中事業)
	(目) 浄化槽管理費		(小事業)

事業目的	公共用水域の水質及び生活環境の保全並びに公衆衛生の向上を図るため、浄化槽市町村整備推進事業により設置された浄化槽の適正な維持管理を行う。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	60,251	59,104	
		決算	52,183			

事業概要	浄化槽市町村整備推進事業により設置された高度処理型(BOD10mg/ℓ以下)の合併処理浄化槽の性能を確保するため、浄化槽法等で定められた保守点検・清掃・法定検査を実施しています。
------	---

## ■実施(DO)

成果指標1	管理浄化槽排水BOD平均値 (浄化槽法11条による定期検査結果)	→	単位	予定	5	5	5	5
				実績	5			
				【 mg/ℓ 】 ( 令和8年度目標値 → 5 mg/ℓ )				
成果指標2	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
				【 】 ( 令和8年度目標値 → )				
活動指標1	管理浄化槽数等の年間点検箇所数	→	単位	予定	806	836	851	886
				実績	759			
活動指標2	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
				【 箇所 】				
活動指標3	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
				【 】				
活動指標4	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
				【 】				

## ■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	生活排水処理を促進するうえで、公共下水道事業と浄化槽整備推進事業は、欠かすことのできない極めて重要な事業である。		国が交付する交付金である循環型社会形成推進交付金を活用しているが、新たな交付金が対象になる場合は積極的に活用する。
事業の 委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	本事業は、浄化槽建設工事との複数業務を一括し、PFI方式で複数年契約により民間業務委託済。		公共下水道事業との整合性を図り設定済み。

## ■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	事業区域内の市管理浄化槽を市が責任を持って適切な維持管理を行った。平成22年度よりSPCとの定例会議を行い、水質向上に努めている。BOD数値の高い浄化槽については、住民に使用状況を確認し、場合によっては指導も行う。また、浄化槽本体に対して調整を行い水質の向上に努めた。浄化槽本体が不良の場合は積極的に入れ替え工事を行う。
---------------	--

## ■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 平成17年度に事業を開始したが、事業開始以前に個人で設置された浄化槽を寄附により市が管理している。それらの浄化槽の老朽化による入れ替え工事が必要になることや年々管理基数が増加していくことによる維持管理費の増加が予想される。
-------------------	---

# 令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月5日
部署名	上下水道部 下水道課
評価者	浅尾 寛

## ■対象事業

事業番号	未設定10	事業名称	流域関連公共下水道整備事業
------	-------	------	---------------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (2) 快適に暮らせる環境づくり ▶ (個別施策25) 暮らしを支える都市基盤の整備
------	--

予算科目	(款) 資本的支出	事業種別	(大事業)
	(項) 建設改良費		(中事業)
	(目) 下水道整備費		(小事業)

事業目的	公共下水道事業区域内における未整備地区の整備を行い、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を目的とする。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	834,896	715,715		
	決算	695,697			

事業概要	未整備地区については、年度別計画による整備工事の実施。各種工事に伴う設計について業務委託する。また総合地震対策計画に基づき耐震化を図る。
------	--

## ■実施(DO)

成果指標1	下水道普及率:公共下水道が整備され水洗化が可能になる人口 ÷ 富田林市の人口	→	単位	予定	95	95	96	96
				実績	94			
【 % 】				( 令和8年度目標値 → 97 % )				
成果指標2	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
【 】				( 令和8年度目標値 → )				
活動指標1	公共下水道が整備され水洗化が可能になる地域の面積	→	単位	予定	1,760	1,770	1,780	1,790
				実績	1,731			
活動指標2	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
活動指標3	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
活動指標4	設定なし	→	単位	予定				
				実績				

## ■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	×:検討していない
	市民生活の基盤となるライフラインである下水道については、計画的な整備が必要である。		料金体系の見直しにより可能性がある。
事業の 委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	PPP/PFI制度の活用により一部可能である。		市街化調整区域の下水道への接続については、分担金(一律12万円)徴収を行っている。建設費の約5%について均等割りした額にて設定。

## ■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	令和6年度の概成を目指し、財源確保しながら整備計画どおり(主に市街化調整区域)進めております。私道(市街化区域)の整備についても箇所と所属町会長を把握し、市が町会の協力も頂きながら積極的に勧奨していきます。
---------------	---

## ■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>広域化・共同化、PPP/PFI等の事業を効率的に実施し事業財源を確保する様、努めてまいります。</p>
-------------------	--